

五島の宝・子どもが育ち、 輝く“しま”をつくる

数値目標	現 状	目 標
合計特殊出生率	1.76 (平成 25 年)	1.87 (平成 31 年)
出生数	250 人 (平成 26 年)	200 人 (平成 31 年)
子育て支援満足度	50.5 % (平成 26 年度)	60.5 % (平成 31 年度)
教育環境満足度	67.6 % (平成 26 年度)	72.6 % (平成 31 年度)

【基本的方向】

●結婚・出産・子育てを支援し、希望をかなえる“しま”をつくる。

五島市の平成 25 年の合計特殊出生率は、1.76 と比較的高い水準にありますが、未婚化・晩婚化、出産・子育てに関する経済的負担などにより、人口置換水準である 2.07 を下回っています。

子育てする家庭が仕事との両立を図り、次世代の宝である子どもたちが健やかに成長できるよう、子育てにかかる経済的負担の軽減など、結婚、妊娠・出産、子育てを切れ目なく支援し、若い世代が希望を持てる地域の実現を目指します。

●地域で子育てし、郷土愛に満ちた“しま”をつくる。

子育てに係るニーズは多様化する傾向にあり、よりきめ細やかな対応が求められています。このような中、郷土の自然や文化、伝統などに接したり、地域の課題を捉え、その解決に向け活動することで、郷土を育て発展させるような郷土を愛する心を持つ「五島の宝・子ども」を、みんなの力を結集し育てます。

●地域と環境を活用し、教育の“しま”をつくる。

小学生からの英語習得事業「プロジェクトG」を進めるほか、語学に長けた大学生などが来島し地域や児童・生徒との交流、ICT教育の強化、さらには県立高等学校の魅力化を図り、グローバル人材の育成に取り組みます。

また、「しま留学」を推進し、しまの豊かな自然の中で都会では経験のできない活動を通して、心身ともに健康な子どもの育成を図るとともに、島内外の子どもの交流による人材育成を進めます。

4-(1) 結婚・出産・子育て支援プロジェクト

出会い・結婚支援から出産・子育てまでのトータル支援により、結婚と出生数の増加を図るプロジェクト

出会い・結婚支援

①出会い・結婚支援

- 婚活支援団体などへの支援
- 交流イベントの開催
- 自分磨き事業の推進



出産・子育て支援

②出産・子育て支援

- 医療費、保育料に関する軽減策の導入
- 地域人材育成と子育て相談体制の強化
- 家庭教育学級等の拡充
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 子育て環境の整備



県・農業団体・商工団体など

地域の医療機関・関係団体・地域コミュニティなど

重点事業①

出会い・結婚支援

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
婚活イベント参加者数	198 人 (平成 26 年度)	200 人 (平成 31 年度)
婚活イベントによる成婚数	—	5 組 (平成 31 年度末累計)
婚活支援団体数	—	5 団体 (平成 31 年度)

〔具体的な施策〕

婚活支援団体などへの支援

市内婚活支援団体や婚活サポーター「縁結び隊」などと連携し、結婚支援体制の確立に取り組み、県の結婚支援事業（ながさきめぐりあい創出事業、婚活講座など）のイベントについても、県と連携し開催します。

そして、官民が協力し、若い世代が結婚や子育てに意識を向けるよう、婚活活動に取り組みます。

交流イベントの開催

若者が地域内外の人と出会い、交流できる場を創出し、結婚支援を推進します。

自分磨き事業の推進

結婚に向けて、当事者の意識や考え方を刺激し、結婚を前向きに考えられるように、独身男女のスキルアップ講座、自分磨き講座などを開催します。

重点事業②

出産・子育て支援

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
子育て支援員数	—	30 人 (平成 31 年度末累計)
放課後児童クラブなどの設置数	9 箇所 (平成 26 年度)	11 箇所 (平成 31 年度)
家庭教育学級等の参加者数	334 人 (平成 26 年度)	500 人 (平成 31 年度)
4か月乳幼児全戸訪問事業の訪問件数	231 人 (平成 26 年度)	203 人 (平成 31 年度)

〔具体的な施策〕

医療費、保育料に関する軽減策の導入

平成 27 年 4 月から多子世帯の保育料の軽減を、また、平成 27 年 10 月からこども福祉医療費助成の対象年齢の拡大を実施し、安心して子育てできる環境の充実に取り組んでいます。今後、さらなる子育ての負担軽減を図るため、ひとり親世帯への支援を検討します。

地域人材育成と子育て相談体制の強化

国で定めた「基本研修」及び「専門研修」を実施し、子育てのサポートを行う子育て支援員を育成し、出産・子育てに関する若い世代の不安を取り除くための相談体制を整備します。

また、子育てに関する情報を発信するホームページの開設など、相談体制を活用できる環境を整備します。

家庭教育学級等の拡充

出産・子育てに関する若い世代の不安を取り除くため、各小中学校の PTA や乳幼児がいる親たちの学びの場を支援します。また、家庭教育学級等の開催や著名な講師派遣による青少年健全育成講演会への参加を促し、相談できる仲間づくりを推進します。

ワーク・ライフ・バランスの推進

父親の子育て参加を目的に、父親子育て講座（仮称）などを開催し、父親の子育てに対する意識向上を図ります。

また、事業所などに子育て環境整備の理解を求め、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進します。

子育て環境の整備

保育所などの増設や、老朽化した施設の改修による保育環境整備を支援し、子どもを安心して育てられることができる環境を整備します。

4-(2) 教育のしまづくりプロジェクト

関係機関と連携した多用な教育カリキュラムによる、確かな学力と豊かな心を併せ持つグローバル人材の育成を図るプロジェクト

教育の充実・環境の充実

①グローバル人材育成

- プロジェクトGの推進
- 新たな奨学金制度の創設

②豊かなこころ・ふるさとを誇りに思う子どもの育成

- 郷土愛を醸成する人材育成の取り組み
- 個に応じた支援体制づくり

③ICT教育の強化

- ICT教育の強化

④高等学校の機能充実と魅力化の推進

- 五島南高等学校の魅力化の推進
- 奈留高等学校の魅力化の推進

⑤読書に親しむ環境づくり

- 図書館機能の充実
- 豊かなこころを育む読書の推進

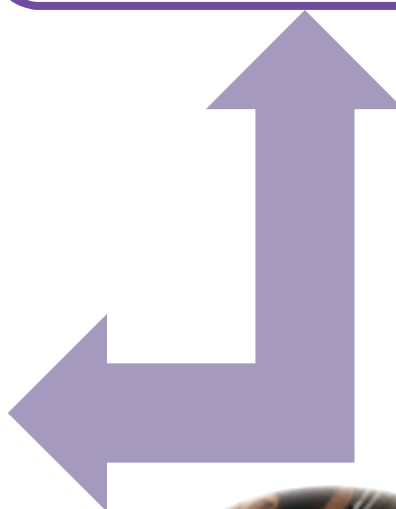
⑥学校教育の環境整備

- 学校教育施設などの新設・改修
- 学校教育機器などの整備・更新

しま留学

⑦しま留学制度の推進

- 市外からの留学生の受入



重点事業①

グローバル人材育成

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
小学6年生対象英語意識調査 (英語が好きな児童の割合)	—	初回調査+10.0% (平成31年度)
児童英語検定正答率	—	初回検定+10.0% (平成31年度)
給付型奨学資金受給者数	—	3人 (平成31年度)

〔具体的な施策〕

プロジェクトGの推進

国の事業を先取りした小学1年生からの英語の学び、小中学校での指導体制強化、ALTなどの人材活用、教材などの開発などを通して一貫した英語教育の充実強化を図り、世界で通用する人材を育成します。

新たな奨学金制度の創設

成績が優秀な者に対する給付型奨学金制度の創設など、世界に通用する人材を育成するための新たな奨学金制度を創設します。

重点事業②

豊かなこころ・ふるさを誇りに思う子どもの育成

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
地域の課題を捉え、その解決に向け活動する学校数	—	8学校 (平成31年度)
不登校児童生徒の割合	0.9% (平成26年度)	0.6% (平成30年度)

〔具体的な施策〕

郷土愛を醸成する人材育成の取り組み

郷土の自然や文化、伝統などに接したり、地域の課題を捉え、その解決に向けて活動する過程を通して、郷土を育て発展させるような郷土を愛する心を醸成する人材育成活動を支援します。

個に応じた支援体制づくり

不登校や発達障害などの特別に配慮を要する児童生徒に対し、学校や家庭、関係機関との連携を図り、特性に応じた適切な支援を行います。

重点事業③

ICT教育の強化

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
全国学力調査の正答率に対する比率	97.5 % (平成 26 年度)	102 % (平成 31 年度)
ICT 活用頻度(回/週)	2.1 回/週 (平成 26 年度)	7.0 回/週 (平成 30 年度)

〔具体的な施策〕

ICT教育の強化

ICT教育にかかる人的支援の充実と、ICT機器の整備をさらに進め、「楽しく、分かる授業」を展開し、学習目標の達成と情報活用能力を育成し、学校を好きな子どもを育てます。

重点事業④

高等学校の機能充実と魅力化の推進

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
高等学校の魅力化への要望件数	—	2 回 (平成 31 年度)

〔具体的な施策〕

五島南高等学校の魅力化の推進

豊かで温かい地域の支援を受ける五島南高等学校において、学習環境を改善することで、全日制での普通科教育を継続させる体制を整備し、高等学校の魅力化を県教育委員会と協議します。

奈留高等学校の魅力化の推進

奈留高等学校については、小中高一貫教育実践校としての特色を活かし、しま留学制度を併せた英語教育の魅力化を進め、島外からの生徒の受け入れを県教育委員会と協議します。

重点事業⑤

読書に親しむ環境づくり

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
図書貸し出し冊数(図書館・公民館)	154,074 冊 (平成 26 年度)	163,000 冊 (平成 31 年度)
学校図書館児童1人当たりの月平均貸し出し冊数(小学生)	17.1 冊/月 (平成 26 年度)	20.0 冊/月 (平成 31 年度)
学校図書館生徒1人当たりの月平均貸し出し冊数(中学生)	7.1 冊/月 (平成 26 年度)	10.0 冊/月 (平成 31 年度)

〔具体的な施策〕

図書館機能の充実

調査研究などの多様な目的に対応できるための図書資料を整備し、市民の教養・文化の向上に資するために、また、児童・生徒の学び場を提供するために新図書館建設に取り組みます。

豊かなこころを育む読書の推進

学校図書館においては、学校図書館支援員を適正に配置し、読書による様々な出会いや郷土愛を育む書物に多く触れる機会を提供することで、子どもたちの心を育て、人生をより深く生きようとする力を伸ばします。

重点事業⑥

学校教育の環境整備

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
学校施設の耐震化率	84.9 % (平成 26 年度)	98.8 % (平成 31 年度)

〔具体的な施策〕

学校教育施設などの新設・改修

岐宿地区統合小学校新校舎建設事業、緑丘小学校校舎改築事業、富江中学校体育館耐震化事業を計画的に実施し、子どもたちが安心して学習できる環境づくりに取り組みます。

学校教育機器などの整備・更新

国が進める「教育の情報化」の指針に沿った教育用情報機器の整備・更新を進め、子どもたちが情報機器に触れながら学習できる環境を整備します。

〔重点業績評価指標(KPI)〕

指標名	基準値	目標値
しま留学者数	—	10 人 (平成 32 年 4 月)

〔具体的な施策〕

市外からの留学生の受入

五島の豊かな自然の中で、都会では経験のできない活動を通じて、心身ともに健康な子どもの育成を図るとともに、島内外の子どもの交流による人材育成を進めます。